

保健婦メモ

三月は桃の節句、町内で今年三月、五月の節句をむかえる方は九十一人です。

今回は、六十一年度のまとめとして、町の母親学級、育児学級に参加した方々に感想を書いていただきました。

初めは三十六歳で出産し、もうすぐ一歳になる児をみながら頑張っているお母さんです。

橋場 小川安子さん 三十七歳
輝光くん 昭和六十一年三月二十九日生 第一子

友も親類もない光町へ嫁ぎ、三十六歳で初産、お腹が大きくなるにつれて不安で眠れない日もありましたが、役場の方が自宅訪問して下さったり、母親学級へ出席してみましたら、先生とマンツーマンで分かり易く指導して下さい、不安もなく出産は軽くて済みました。

その後は検診があるたびに、育児学級で指導していただき、子育てに大変役立っております。今では、その子も十か月になり、風邪もひかずに元気で育っております。

主人も子育てには協力してくれ、毎日お風呂に入れるのを楽

しみにしている次第です。

これからは教育、しつけと大変な時期になって来ますが、分からない事は又、保健衛生課の皆様のご指導を受けさせていただきたいと思っております。

遅く授かった子供ですが、甘やかさず、素直で健康に育ってくれる事を願っております。

光町はいろいろな面で施設が充実しており、母、子供に大変役立っております。

次は、非常に若く出産しながらも、児と一緒に大きく成長しているお母さんです。

母子 池田久美子さん 十八歳
和也くん 昭和六十一年九月二十五日生 第一子

私は、昨年の九月に男の子を出産した新米ママです。育児にとまどいながらも五か月がたちました。

本を読んだり、母に聞いたりしていろいろ育児を勉強しましたが、実際は大変な毎日でした。でも、町の母親学級に幾度か参加し、保健婦さんや同年代のお母さん方と友達になって話を聞いたり、とてもためになりました。

母親学級では、体重や身長測定、健康診断を行い、赤ちゃんの発育状態を知る事が出来ま

す。また、先生のお話やベテランのお母さん方の体験談を聞いてとても勉強になります。

いつも家において、家事と育児に専念している私にとっては氣ばらしにもなるし、とてもいいと思います。

これからも機会があったらどんどん参加させていただこうと思っております。

息子も日増しに成長し、毎日が見の連続です。イナイイナイバーで笑ったり、おもちゃを取りあげられて泣いたり、だんだん人間らしくなってきました。あどけない笑顔は、ほんとうに天使のようです。

五月五日は端午の節句、我が家にもこいのぼりが高だか上がることでしょう。空を泳ぐこいのぼりに元気な男の子に育ってほしいと願っています。

母親学級をうまく利用して、現在頑張っている様子が良くわかりますね。

次は、実際の育児を通した体験談です。

辻 篠崎晴美さん 二十二歳
まりなちゃん 昭和六十一年二月二十六日生 第一子

誰かに教わった訳でもないのに、子供って一人で生れようとする。生れたばかりなのに小さな口で、力強くおっぱいを吸う事ができる。そんな事あたり前

に思っていたけれど、とても不思議に思えます。それに、子供っておもしろい。周りの人達まで変えてしまう。まだ子供みたいな私なのに、子供がいたずらをした時など、急に大人になつて、ちょっと偉そうな口ぶりになっている。子供と遊んでいる時、私はもちろん、家族がみんな赤ちゃん言葉になっていたりして、始めての子供なので分らない事ばかり。オドオド、ハラハラ、いやになったり、不安になったり、一緒になって泣いたりしたけど、笑った時、眠った時の顔はとてもかわいい。無中で一年過ぎてしまいました。

これからもっと大変になると思うけど、しっかりと頑張りたいと思います。

早く大きくなって、一緒に菓子を作ったり、買物、遊園地そう考えるだけで楽しい気分になり、夢が広がります。一つ一つ、その夢が叶えられたらいいなあと思います。

家族が一体となって、初めてのお子さんを育てている様子が良くわかります。

これからが楽しみです。

次は、ベテラン、第三子を出産され、ご自分の子育て論をもつて頑張っている方です。

谷中 寺尾玲子さん 三十三歳
奈穂ちゃん 昭和六十一年一月二十八日生 第三子

姉と妹の間に男の子一人、そんな子供達の中で一番難しいのが第一子です。現在、小学一年生。毎朝六時五〇分に家を出ます。一緒に行く友達の家まで一キロ程あるでしょうか、毎朝のように霜が降り、寒さが身に凍みる日々です。親が子供を弱くしていると思っはいるのですが、其処まで送っています。

そこで交換条件に家の手伝いをさせる事にしました。それは良くやってくれるので、助かるのですが、学校生活になかなかなじめず、一人浮いている感じがします。

この子が幼児の頃共嫁ぎで朝晩忙しく、ろくに話を交わす事がなく、「これナニ」と聞かされても、いつでも答えてやらなかった事が原因になっているのでは、と思います。遅れながらも現在言葉の対応に注意し、育児教育に積極的に参加しています。

これからも、いろいろな事にぶつかるとは思いますが、親子共に戸惑いを感じながらも乗り切つて行こうと思っております。

光町では、六十一年度から初めて母親学級に育児学級を取り入れ、出産前に妊婦で参加した方が出産後、児を連れて育児学級に参加し、その生の体験を話